平成20年度　草加市優秀工事表彰

14社の技術力　高く評価

ナガヤス4年連続の快挙

ナガヤス工業平均工事で表彰状を受ける大根田長政さん（写真左）

平成20年度草加市優秀工事表彰式

草加市（木下博信市長）は7月16日、市内のアコスホールで「平成20年度市優秀工事表彰式および公共工事安全会議」を開催した。表彰を行ったのは、昨年度に施工した1件の工事成績が90点以上だった「1件工事」と、昨年度に3件以上の工事を施工し成績の平均点が75点以上かつ60点未満がない「平均工事」の2つ。当日は、市の関係者をはじめ、事業者など約200人が出席し、みなで受賞者の栄誉を讃えた。

今回の表彰では「1件工事」でナガヤス工業（92・2点）と渡辺建設工業（92・6点）が、ともに排水路整備工事を完成し受賞。特に、ナガヤス工業（大根田浩一代表取締役）は4年連続受賞という快挙を成し遂げた。また、「平均工事」では、セントラル設備（加藤栄代表取締役）など過去最多の14社が受賞。ナガヤス工業、渡辺建設工業は、ともに同表彰でも受賞し、ダブル受賞の栄誉に輝いた。

市工事検査課の後藤伸行課長の講評によると、昨年度に完成した工事のうち、300万円を超えるもので成績対象となった工事は合計154件。この中から、1件工事2件と、平均工事14件を選定した。

受賞理由については、1件工事では、施工個所が狭あいで、作業ヤードが制限されるという悪条件の中、仕上げも良好で、安全管理もきめ細かい配慮を行っていた点を評価。一方、平均工事においては、施工管理や出来形管理などが適切で、工事検査時の受検体制も良好だった点を挙げた。

セントラル設備の加藤栄さん（写真左）

また、後藤課長は19年度工事の総括を述べ、154件の平均点が74・3点で18年度と比べ1・8点上昇したほか、75点以上の優秀工事は89件に上り、全体の58％と半数以上を占めたことを説明。全体的に工事成績がアップする中、特に評価が高い工事については、地元調整への取り組みや創意工夫が顕著だったとした。最後に、出席者に対し、今後の精進と施工時における一層の創意工夫を呼びかけた。

表彰の後あいさつに立った木下市長は、「市民の期待に応え、より良い価格で高品質な社会資本を提供いただいた」と受賞者に祝意を伝えた。また、単品スライドの実施や総合評価方式の導入について触れ「良い工事を行った者が有利になるよう、結果を反映させていく。皆さんに評価方法などを納得してもらえるよう情報を提供していきたい」と述べるとともに、「来年度に向け素晴らしい工事を実施してもらいたい」と期待を示し、あいさつを締めくくった。

式典後は、公共工事安全会議が開かれ、春日部労働基準監督署の小林雅彦安全衛生課長と草加警察署の小林敏明交通総務係長による講演を実施。受賞者をはじめ出席者はみな熱心に耳を傾け、安全に対する意識を新たにした。

受賞者の顔ぶれは次の通り。

※工事名（工事場所）＝受賞者（得点）――の順

【1件工事】

▽排水路整備工事（D―121号水路）（草加市西町、花栗2丁目地内）＝渡辺建設工業（92・6点）

▽排水路整備工事（A―270号水路）（草加市稲荷2丁目地内）＝ナガヤス工業（92・2点）

【平均工事】渡辺建設工業（88・6点）▽白石建設（81・9点）▽セントラル設備（80・5点）▽井坂興業（80・3点）▽ナガヤス工業（80・0点）▽岩渕産業（79・6点）▽斎藤興業（79・2点）▽小林設備（78・7点）▽立花建設工業（78・2点）▽草加建設（77・3点）▽保永建設（76・9点）▽三成建設（76・8点）▽松大工業（76・2点）▽第一管工（75・4点）